

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部 (1年制)	2020年度	デザインビジネス コース・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	就職セミナー	ゲスト講師	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>特別講座：現代社会においてクリエイターの役割は益々重要性を増し、その領域は日々拡大しつつあります。講座では創作における考え方、発想をリアルタイムな講義を通して学んでいきます。</p> <p>就職セミナー：就職活動から入社後の心構えやクリエイターとしての取り組みなどについてセミナー講座を開催。</p>			
【講義概要】			
<p>7/11(土)就職セミナー1 (卒業生)、7/28(火)就職セミナー2 (岡山)、9/4(金)2限目古美術研修講座、9/26(土)同窓会特別講座、10/7(水)知的財産権 (山本)、10/17(土)就職セミナー3 (アイデム)、12/12(土)創形展特別講座* 日程は出講表を確認すること。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	就職セミナー1		
2	就職セミナー2		
3	古美術研修講座		
4	同窓会特別講座		
5	知的財産権講座		
6	就職セミナー3		
7	創形展特別講座		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とする。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2020年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語能力試験N1対策	蔣燕萍	4単位 99時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>①日本語能力試験N1に合格できる力を付けること。 ②試験対策にとどまらない全般的な語彙の力をつけること。</p>			
【講義概要】			
試験に出題される「文字語彙」「文法」「聴解」の練習問題の解答を通じて日本語力を向上させること。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	講義
2	講義	18	講義
3	講義	19	講義
4	講義	20	講義
5	講義	21	講義
6	講義	22	講義
7	講義	23	講義
8	講義	24	講義
9	講義	25	講義
10	講義	26	講義
11	講義	27	講義
12	講義	28	講義
13	講義	29	講義
14	講義	30	講義
15	講義	31	講義
16	講義	32	講義
		33	試験
【成績評価方法】			
<p>試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。 2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部 (1年制)	2020年度	留学生・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	美術日本語	メロス言語学院講師	2単位 36時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
美術・デザインに関する専門用語の勉強によって、日本語（特に口語能力）の向上を目標として挙げます。			
【講義概要】			
1.1分間スピーチ（30分） 2.美術関係記事についてのディスカッション（50分） 3.映像教材を用いた美術用語導入（90分） 4.前回導入した美術用語のチェック小テスト（10分） 5.課外宿題			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	試験		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2020年度	デザインビジネス コース・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	ポートフォリオ講座	上野 仁志	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>ポートフォリオは、記録集ではない。「何ができるか」「何をしたいのか」を伝えるもの。ポートフォリオの制作を通じて、自己作品の効果的な提示方法を習得する。また、「作品を見返すこと」、「他者のポートフォリオを見ること」、「自らの言葉で作品を説明すること」を通じ、自己作品を俯瞰で捉え、作品制作のあり方を探る。</p>			
【講義概要】			
<p>初日に「ポートフォリオを作ろう」講義を行います。個々に対応した、ポートフォリオ作成をアドバイスします。最終日に、作成したポートフォリオの説明（プレゼンテーション）を実施。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ポートフォリオに関する説明会、制作する上での注意点など。学生のポートフォリオのチェック。		
2	ポートフォリオのチェック、アドバイス		
3	ポートフォリオのチェック、アドバイス		
4	ポートフォリオのチェック、アドバイス		
5	ポートフォリオのチェック、アドバイス		
6	ポートフォリオの説明（プレゼンテーション）		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 1960生まれ。1980年立教大学経済学部経営学科中退。1984年東京芸術大学美術学部デザイン科卒業。 1986年同大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。株式会社博報堂入社。 デザイナー、アートディレクターを経てマネジメントディレクターとしてクリエイターの人材発掘と育成を担う。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2020年度	美術進学コース ・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	研究計画作成法	新川 貴詩	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
研究計画書の構成や表現、そして日本語の論理的な文章の書き方を身につけることを目標とする。また、大学院受験に必要な研究計画のプレゼンテーションや面接試験の応答の能力も高める。			
【講義概要】			
この講義では、大学院進学に向けて、研究計画書を書く方法について学ぶ。研究計画書の構成や文体などを習得するとともに、研究課題の絞り込みや動機・背景の整理整頓を図る。また、大学院の学科や指導教員を選択するにあたっての情報収集の方法についても学ぶ。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	研究計画書とはどんなものかを知る		
2	研究課題を決める		
3	研究課題を決める 発表・コメント・添削		
4	骨組みになる文章を書く 研究目的を書く		
5	骨組みになる文章を書く 研究目的を書く 発表・コメント・添削		
6	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景の内容と構成を考える		
7	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景の内容と構成を考える 発表・コメント・添削		
8	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景を書く		
9	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景を書く 発表・コメント・添削		
10	骨組みになる文章を書く 研究意義を書く		
11	骨組みになる文章を書く 研究意義を書く 発表・コメント・添削		
12	骨組みになる文章に先行研究を引用する		
13	研究方法を書く		
14	研究方法を書く 発表・コメント・添削		
15	研究計画書の発表・コメント・添削		
16	研究計画書の発表・コメント・添削		
【成績評価方法】			
試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 1967年生まれ。早稲田大学大学院情報通信専攻修了。美術ジャーナリストとして新聞や雑誌に文章を発表する傍ら、展覧会企画にも関わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部 (1年制)	2020年度	美術進学コース ・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	前期小論文	蔣 燕萍	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
入試小論文の内容を向上すること。			
【講義概要】			
模擬小論文を通じて、小論文の練習に繋がること。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	講義		
15	講義		
16	試験		
【成績評価方法】			
試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。 2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部 (1年制)	2020年度	美術進学コース ・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	選択小論文	蔣 燕萍	1単位 12時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
入試小論文の内容を向上すること。			
【講義概要】			
模擬小論文を通じて、小論文の練習に繋がること。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	試験		
【成績評価方法】			
<p>試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。 2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2020年度	美術進学コース ・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	進学準備講座	蔣 燕萍	6単位 108時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
美術大学院への進学を目指す内容です。大学院への進学に十分対応可能な能力を身につけることを目標としています。			
【講義概要】			
大学院進学に必要な学校選び方、研究室の選び方、教授への連絡の取り方、面接指導などを通じて、合格まで授業や個別対応にてサポートします。 また、発信力を向上するため毎回の授業で、関連記事の感想発表を行います。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	21	講義
2	講義	22	講義
3	講義	23	個別模擬面接
4	講義	24	講義
5	講義	25	講義
6	講義	26	講義
7	講義	27	講義
8	講義	28	講義
9	講義	29	模擬面接
10	講義	30	講義
11	研究テーマ・作品発表会	31	講義
12	講義	32	模擬面接
13	講義	33	講義
14	講義	34	講義
15	講義	35	講義
16	講義	36	模擬面接
17	講義	37	講義(予備)
18	講義	38	講義(予備)
19	個別模擬面接	39	講義(予備)
20	講義		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。 2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2020年度	美術進学コース・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	クリエイティブ業界の現状と課題	高橋庸平	1単位 30時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
大学院入試における小論文試験で求められる専門知識について、理解を深めることを目標とします。			
【講義概要】			
各回ごとに設けられたテーマに沿った講義とディスカッションを通して、クリエイティブ業界（グラフィックデザイン、イラストレーション、アニメーション）の現状と課題について学習します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	クリエイティブ業界の現状についてまとめ		
2	グラフィックデザインの定義（アートとデザインの比較）		
3	グラフィックデザインの役割（社会的有用性について考える）		
4	イラストレーションのシステムとメディア（印刷技術から電子メディアへ）		
5	世界のイラストレーション（作家を研究すること）		
6	イラストレーション表現におけるデフォルメ（キャラクター表現）		
7	漫画表現の歴史（カートゥーンとコミック）		
8	児童文学からアニメーションへ（教育・娯楽文化の発達）		
9	アニメーション表現の多様性（表現特性を読み解く）		
10	総括（クリエイティブ業界の課題）		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1981年千葉県生まれ。2019年多摩美術大学大学院美術研究科博士後期課程美術専攻修了、博士号取得。 主な受賞にFUKUDAポスター大賞2005最優秀賞、日本ブックデザイン賞2016ブックジャケット・文庫版部門金の本賞、モスクワ国際グラフィックデザインビエンナーレ2016Golden Bee賞（ロシア）、グラフィスポスター年鑑2019銀賞（アメリカ）ほか。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2020年度	アート研究コース /デザインビジネスコース ・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	総合研究	専任教員	16単位 303時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
前期本科2、3年のカリキュラム履修もしくは自主研究。			
【講義概要】			
前期本科2、3年のカリキュラム履修もしくは自主研究。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、制作指導		
6	～10 制作、制作指導、中間チェック		
11	～15 制作、制作指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、制作指導		
31	～35 制作、制作指導		
36	～40 制作、個別指導、中間チェック		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導		
51	～55 制作、制作指導		
56	～60 制作、個別指導、中間批評会		
61	～65 制作、制作指導		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導、中間チェック		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、制作指導		
91	～95 制作、制作指導		
96	～100 制作、制作指導		
101	講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部 (1年制)	2020年度	美術進学コース・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択実技	特別授業	澤田泰廣	単位 6時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
大学院におけるデザイン研究のレベルと、その取り組み方の理解を目標とします。			
【講義概要】			
多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程（修士課程）デザイン専攻グラフィックデザイン研究領域について。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	作品ファイルのチェック、及びアドバイス。		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 1985年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。サントリー（株）宣伝制作室を経て、1989年澤田泰廣デザイン室設立、現在に至る。アートディレクター、グラフィックデザイナーとして活動。多摩美術大学教授。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2020年度	デザインビジネスコース ／美術進学コース ・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択実技	イラストレーション研究A	谷口広樹	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>ただ自身の好きなものを描くのではなく、目的に合う自分の表現のための演出力と創造性を身につける。</p>			
【講義概要】			
<p>季刊誌の表紙のイラストレーションを制作する および 各授業毎に課題を課し授業内で制作をする。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	課題出題および授業内制作1		
2	授業内制作2		
3	中間チェックおよび授業内制作3		
4	授業内制作4		
5	最終チェックおよび授業内制作5		
6	課題プレゼンテーションおよび講評		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 イラストレーター、グラフィックデザイナー、画家。イラストレーションや絵画はもとより、絵画思考を中心に据えたグラフィックデザイン等、ジャンル、カテゴリーにこだわらず独自の世界観を展開。広告、出版、店舗装飾、壁画、プロダクト商品など、活動のフィールドは多岐にわたる。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部 (1年制)	2020年度	美術進学コース・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択実技	イラストレーション研究B	都築 潤	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
イラストレーションについて一步踏み込んだテーマ設定と研究を進めます。			
【講義概要】			
イラストレーション史 (レクチャー) / 作品ポートフォリオ作成。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション 課題発表		
2	制作		
3	制作		
4	制作		
5	制作		
6	課題プレゼンテーションおよび講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100~95：A+ 94~80：A 79~70：B 69~60：C) 不合格(59~0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 1962年生まれ。日本グラフィック展、ザ・チョイス年度賞、クレセントイラストコンペ年間日本のイラストレーション、毎日広告賞、TIAA、カンヌ国際広告祭、アジアパシフィック広告祭、その他で受賞。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2020年度	デザインビジネスコース・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	就活ポートフォリオ/インターンシップ	上野仁志、山本哲次	2単位 90時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>仕事に対する意識を高め、就職活動を知り、将来計画のきっかけをつくることを目標とします。 インターンシップを経験することにより、専門的知識についての実務能力を高めるとともに、学習意欲に対する刺激を得られ、高い就業意識を身につけることができます。さらに、将来の進路選択において自らの適性や能力について実践的に考える機会になります。クリエイティブ業界の最新の情報を得られるとともに、会社が求める人材に対するニーズが把握できる事も大きなメリットです。</p>			
【講義概要】			
<p>自分のポートフォリオを制作し、プレゼンテーションを行ないます。また、就職についての講義を行ないます。就業体験（インターンシップ）をし、実習レポートをまとめて提出。（希望選択制）</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	1回目（講義：ポートフォリオについて）	18	ポートフォリオチェック
2	ポートフォリオチェック	19	制作
3	講義（面接・プレゼン）	20	個別アドバイス
4	制作	21	制作
5	ポートフォリオチェック	22	ポートフォリオチェック
6	制作	23	制作
7	ポートフォリオチェック	24	個別アドバイス
8	制作	25	制作
9	制作	26	制作
10	2回目（講義：クリエイティブの就職について）	27	ポートフォリオチェック
11	制作	28	制作
12	ポートフォリオチェック	29	制作
13	制作	30	4回目（講義：クリエイティブの就職について）
14	制作		
15	3回目（講義：クリエイティブの就職について）		
16	制作		
17			
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義及び実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1960生まれ。1980年立教大学経済学部経営学科中退。1984年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。1986年同大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。株式会社博報堂入社。 デザイナー、アートディレクター、を経てマネジメントディレクターとしてクリエイターの人材発掘と育成を担う。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2020年度	デザインビジネスコース・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	研究テーマ制作	専任教員、飯田 淳	16単位 447時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>オーダードメイドカリキュラムシステムによるそれぞれ専攻分野による後期授業の履修もしくは「研究テーマ制作」の習得。ポートフォリオ(就職試験用)の完成。最終的に日本での業界就職を目指す。</p>			
【講義概要】			
<p>オーダードメイドカリキュラムシステムによるそれぞれ専攻分野による後期授業の履修もしくは「研究テーマ制作」の習得。ポートフォリオ(就職試験用)の完成。最終的に日本での業界就職を目指す。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		
131	～135 制作、個別指導		
136	～140 制作、個別指導		
141	～145 制作、個別指導		
146	～149 制作、プレゼンテーション、合同講習会		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 飯田 淳：1955年東京都生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。『HERMÈS Collection Homme Automne-Hiver 2008 INVITATION』のイラストレーション。『THE CONRAN SHOP』07と08のオリジナルイラストダイアリー。『an・an』『クロワッサン』『クーネル』など、多数の女性誌イラストレーション。雑誌『GINZA』のロゴデザイン。原宿のハンカチーフショップ『バルトゥーズ』をプロデュース。TIS会員。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2020年度	アート研究コース・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	修了制作	専任教員、飯田 淳	16単位 447時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
修了作品の制作。ポートフォリオの完成。			
【講義概要】			
修了作品の制作。ポートフォリオの完成。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		
131	～135 制作、個別指導		
136	～140 制作、個別指導		
141	～145 制作、個別指導		
146	～149 制作、プレゼンテーション、合同講習会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>飯田 淳：1955年東京都生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。『HERMÈS Collection Homme Automne-Hiver 2008 INVITATION』のイラストレーション。『THE CONRAN SHOP』07と08のオリジナルイラストダイアリー。『an・an』『クロワッサン』『クーネル』など、多数の女性誌イラストレーション。雑誌『GINZA』のロゴデザイン。原宿のハンカチーフショップ『バルトゥーズ』をプロデュース。TIS会員。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 屋間部（1年制）	2020年度	美術進学コース ・IL/GD 前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デザイン総合研究ゼミ	関根 慎一	16単位 369時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
これまで研究してきたテーマを基に、研究計画書を完成し、40点以上の作品制作による受験用ポートフォリオの充実を目指す			
【講義概要】			
<p>A) これまでの研究成果の発表の場としての、架空の個展開催におけるポスター・フライヤー・グッズ等を制作する。さらに、展示作品として数点制作する。</p> <p>B) 現在関心のあるテーマを決めて、メッセージポスターを制作する。他に、メッセージを広く伝えるためのアイテムあるいはポスター以外の新しいメディア等の開発と制作。</p> <p>C) 広告・エディトリアル&ブックデザイン・パッケージデザイン・CI・小型グラフィックなど、各自の研究テーマに基づいた作品の制作。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～123 制作、個別指導		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1961年、神奈川県生まれ。1987年、東京芸術大学大学院視覚デザイン専攻修了。株式会社LD デザイン事務所を経て、1997年、関根慎一デザイン室設立。企業・商品・イベント・展覧会などの広告、CI、ブックデザイン、カレンダー、ミュージアムグッズなどの制作。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 屋間部（1年制）	2020年度	美術進学コース 絵画造形・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵画造形総合研究ゼミ	工藤礼二郎	1.6単位 369時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
受験する各大学院研究室の担当教員の制作及び研究活動を十分に理解し、進学後の自らの研究テーマがそれらに相応しいものであるかを検討する。			
【講義概要】			
希望する大学院のどの研究室を目指すのかを単なる校名やイメージだけでなく、各学生ごとの具体的な面談内容と制作内容とを照らし合わせながら、以後の方向性を見極め、より適切な進路先を決定する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～123 制作、個別指導		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2020年度	美術進学コース ・版画・前期／後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	版画総合研究ゼミ	鈴木吐志哉	16単位 369時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>■ 版画表現における各自のテーマにそった表現方法・版種・コンセプトを考察・研究・制作する。</p> <p>■ 必要に応じて版画2年の技法実習と並行し、版画技法のさらなる充実を目指す。</p> <p>■ 年間を通してポートフォリオを作成できるだけの作品の制作を目指す。</p>			
【講義概要】			
<p>[前期] ・版画作品を2点以上制作。(2年版画実習作品含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ制作 ・作家研究 <p>[後期] ・版画作品を4点以上制作。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ制作 			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～123 制作、個別指導		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ（大賞）他、（社）日本版画協会会員。版画学会会員。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2020年度	美術進学コース ・A&C・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	アニメーション&コミック総合研究ゼミ	岡山拓史	16単位 369時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
大学院進学に向けて、試験で必要となるクオリティの高い作品制作を目指す。			
【講義概要】			
映像、漫画、デジタルイラストなど学生が希望する内容に合わせて個別に指導する。また試験で必要となるポートフォリオ、小論文、志望動機などの指導もする。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～123 制作、個別指導		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FUTONE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー／アートディレクターとして活動中。			